

茨城県における水道水及び加工食品等の放射性物質試験検査結果について

茨城県衛生研究所

○立原幹子, 佐藤真由美, 大曾根圭子, 小林雅枝

1 はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故を受け、当所では平成 23 年度から水道水の放射性物質試験検査を開始した。また、平成 24 年度からは加工食品の放射性物質試験検査を開始し、県の食の安全に務めている。

今回、平成 27 年度までに実施した水道水 3073 検体及び加工食品 600 検体の検査結果について報告する。

2 方法

(1) 対象

- ① 水道水：平成 23 年 10 月～平成 28 年 3 月に実施した県内水道水（原水を含む）3073 検体
- ② 加工食品：平成 24 年 4 月～平成 28 年 3 月に実施した県内流通の加工食品（県内製造業者が製造、加工したもの等）600 検体

内訳：牛乳，飲料水，乳児用食品，一般食品（魚介類加工品，肉・卵加工品，野菜・果物加工品，菓子類，穀物加工品，乳製品，清涼飲料水，その他）

(2) 測定

放射性セシウム（Cs-134，137）を測定対象核種とし、ゲルマニウム半導体検出器で精密測定した。ただし、平成 23 年 10 月～平成 25 年度の水道水は、セシウム 136，ヨウ素 131 を合わせた 4 核種を測定対象核種とした。

3 結果

水道水は全ての検体において不検出であった。加工食品は、平成 24 年度に牛乳 3 検体から、平成 27 年度に水産物を主原料とする佃煮 6 検体から検出があったが（表 1）、基準値（表 2）を超えた試料はなかった。

表 1 放射性セシウムが検出された試料の測定結果

年度	品名	食品群	測定値(Bq/kg)		
			Cs-134	Cs-137	放射性Cs合計
H24	牛乳	牛乳	0.580(0.389)	0.688(0.445)	1.27
H24	牛乳	牛乳	ND(0.399)	1.07(0.420)	1.07
H24	牛乳	牛乳	ND(0.405)	0.474(0.468)	0.474
H27	そうざい(水産物を主原料とする佃煮)	一般食品	7.15(5.94)	19.3(7.39)	26.5
H27	そうざい(水産物を主原料とする佃煮)	一般食品	ND(5.92)	8.69(6.76)	8.69
H27	そうざい(水産物を主原料とする佃煮)	一般食品	ND(6.48)	10.2(7.04)	10.2
H27	そうざい(水産物を主原料とする佃煮)	一般食品	ND(7.76)	12.7(8.28)	12.7
H27	そうざい(水産物を主原料とする佃煮)	一般食品	ND(6.61)	11.9(6.67)	11.9
H27	そうざい(水産物を主原料とする佃煮)	一般食品	ND(5.76)	8.54(7.01)	8.54

ND:検出されず，()内は検出限界値

表 2 基準値

食品群	基準値(Bq/kg)
一般食品	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

4 考察

水道水は県内 16～17 カ所で採水されたもので、原水は、久慈川，十王川，大北川，那珂川，山田川，地下水等であったが、当所では、平成 23 年 10 月の測定開始から不検出で推移しており水道水及び原水に影響はみられなかったと考えられる。

加工食品では、牛乳 3 検体及び水産物を主原料とする佃煮 6 検体から放射性セシウムが検出されたが、最も高い値が検出された検体でも基準値の 1/4 程度であった。また検出された検体の割合は、加工食品全体の 1%程度であり、ほとんどの検体が不検出であったことがわかった。